

民間有識者会議の提言から

世界的に加速する獲得競争

「選ばれる国」めざせ

党対策本部の会合で説明



提言について説明する毛受執行理事(7月21日 参院議員会館)

増進に資する新たな対応が求められる。と指摘。国内外における社会・経済面での変化が急速に進む中、必要不可欠なイノベーション(技術革新)の力を握るのは多様性であり、外国人が定住しやすい環境を整備し、世界的に加速化する人材の獲得競争に遅れてはならないと強調

提言のタイトルは「アフターコロナ時代に向けての外国人受入れ政策のあり方―「選ばれる国」への新提言―」。日本の人口が減少する中で、国の活力を維持し続けるためには、包括的な外国人材の受け入れと共生社会の実現が不可欠との認識のもと、コロナ禍後を展望し、菅義偉政権が示した「外国人に選ばれる国」を実現するための方針として、まとめられた。提言について毛受執行理事は「コロナ禍後の再成長に向けて、日本の競争力の強化に直結する高度人材を含め多様な外国人材の受け入れ、生産性の向上や、企業の競争力の強化、ひいては日本の国力の



外国人材の受け入れ

どう進めるか

コロナ禍における在留外国人の現状について提言では、帰国困難な外国人に対する在留資格の延長や、一律10万円の特別定額給付金をはじめとする支援・給付金の対象に国籍条件を設けず、多言語での情報提供を積極的に行うなどの取り組みを評価。その一方で、政府や自治体と地域の支援団体や外国人コミュニティとのつながりが薄く、政府の情報が十分に伝わらない事態の発生にも言及した。また、世代を超えて生活の不安定化が高まっており、在留外国人の抱える課題はより複雑化、深刻化していると指摘。非正規雇用率が全国の平均値に比べて高い在留外国人にあっては、コロナ禍によっ

て雇用の不安定化が生活困窮へ結び付く状況が生じているとし、そうした課題の解決には外国人の雇用、生活の保障と結び付く日本人と同等での雇用などが着実に実施されることを求められた。提言では、日本が世界的な人材獲得競争に勝ち抜くためには、外国人が定着し、活躍してもらえるよう示していく必要があると指摘。外国人に対する日本のスタンスを明示するための「在留外国人基本法」を作るべきだと訴えた。また、日本での安定した生活と雇用、活躍の土台となる日本語教育の重要性に触れ、

親が外国籍など「外国に育つ子ども」の教育、就労の問題についても課題が山積している。提言では、子どもたちの高校進学率は日本人に比べて格段に低い上に、中退率は高い状況となっており問題は深刻だとした。このほか、日本国内で技術を学ぶ母国でその経験を活かすコースと日本での長期的な就労・活躍を目的とするコースを併せ持つ新制度「外国人青年実習・活躍制度」の創設を提案した。

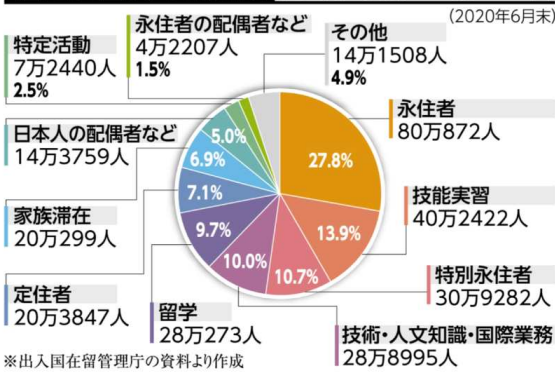
親が外国籍など「外国に育つ子ども」の教育、就労の問題についても課題が山積している。提言では、子どもたちの高校進学率は日本人に比べて格段に低い上に、中退率は高い状況となっており問題は深刻だとした。このほか、日本国内で技術を学ぶ母国でその経験を活かすコースと日本での長期的な就労・活躍を目的とするコースを併せ持つ新制度「外国人青年実習・活躍制度」の創設を提案した。

復、生活再建への対策を果敢に実行し、国民のみならず命と暮らしを守ります」という言葉に公明党の本気の強さを感じます。本紙7月11日付で、衆院選に挑む党予選の時、新しいイメージスターが居る。さっそく自宅前の掲示板に張り方まで。さわやかな力強い。心も躍ります。コロナ禍が続きますが、前を向いて前進あるのみです。わが関西は小選挙区6人の候補者がいま

す。都議選では厳しい情勢をね返す最後の勝利をもち取りました。いつも思いますが、選挙の時だけはダメです。平日頃が何よりです。(主婦 78歳)

秋田市 藤嶋 秀子

在留外国人の構成比 在留外国人数:288万5904人



日本における在留外国人は昨年6月末時点で288万5904人(グラフ参照)。過去最高となった2019年末と比べて約4万7000人の減少だが、新型コロナウイルスの影響で外国人入国者数が一時的に減ったため、国内の在留外国人数は総じて増加傾向にある。また、日本は本格的な人口減少に突入してから長く、19年の人口動態統計によると、出生者数が約85万5000人と過去最少となるなど、少子化に歯止めがかかっている。このままでは、日本の人口減少は加速度的に進行すると予想されている。

政府一丸で環境整備へ

政府は、人口と労働力人口が減少する中、日本で働く外国人の数が年々増加している状況に鑑み、現在は新型コロナウイルスの影響を大きく受けているものの、この状態が収束した後は、日本に在留する外国人はさらに増加していくと見通している。すでに政府は、日本で働き、生活する外国人の受け入れ環境を整えることで、外国人の権利が守られ、外国人が日本社会の一員として円滑に生活できるようにしていく必要があるとして、「外国人材の受け入れ・共生に関する関係閣僚会議」を18年7月に設置。同年12月には、外国人材の受け入れを拡大する改正出入国管理法が成立するとともに、外国人の受け入れ・共生のための取り組みを政府一丸

として、より強力かつ包括的に推進していく観点から、126施策を含んだ「外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策」を取りまとめた。昨年7月には、191施策からなる総合的対応策の改訂版を取りまとめている。このように、政府を挙げて共生政策の推進に取り組んでいるが、コロナ禍は在留外国人を抱えている、さまざまな課題を浮き彫りにした。このため政府は、日本に適合した在留する外国人を孤立させないよう受け入れるといふ観点に立ち、これまで以上に施策を推進していく必要があるとして、今年2月に「外国人材の受け入れ・共生関係閣僚会議」を18年7月に設置。同年12月には、外国人材の受け入れを拡大する改正出入国管理法が成立するとともに、外国人の受け入れ・共生のための取り組みを政府一丸

共社会めざし 活発に意見交換 意見交換で公明議員から、共生社会を推進していくためのポイントについて質問が出た。これに対して毛受執行理事は、外国人を孤立させないための支援活動に触れ、「国内では現在、各地域のNPOや民間団体などが主体となって

このほか参加者からは、海外諸国では社会的コストがかかるとして外国人排斥の動きが出ている現状も踏まえ、「例えば外国人を受け入れた方がこれだけ経済的にプラスになるというふうな、インセンティブ(誘因)となる客観的データが必要ではないか」などの意見もあった。

「勝者なき都議選」という活字が躍る中で、政治評論家の森田実氏は「公明党こそ唯一の勝者である」と強調されていたが、その通りと拍手したい。奇跡の勝利を生んだものは、支持者の執念と団結以外にないと思う。支持者にとっては、都議会公明党のこれまでの実績への誇りと、約束した公約は必ず実現してくれという信頼が、大きな力となった。批判のための批判や、選挙の時だけ花火のような派手なことを言うのは誰でもできる。都選を通して、手弁当で社会を少しでも良くしたいと活動する人々によって、まさか実現することをおぼろげに確信した。(自営 68歳)

「勝者なき都議選」という活字が躍る中で、政治評論家の森田実氏は「公明党こそ唯一の勝者である」と強調されていたが、その通りと拍手したい。奇跡の勝利を生んだものは、支持者の執念と団結以外にないと思う。支持者にとっては、都議会公明党のこれまでの実績への誇りと、約束した公約は必ず実現してくれという信頼が、大きな力となった。批判のための批判や、選挙の時だけ花火のような派手なことを言うのは誰でもできる。都選を通して、手弁当で社会を少しでも良くしたいと活動する人々によって、まさか実現することをおぼろげに確信した。(自営 68歳)

秋田市 藤嶋 秀子

実績への誇りと信頼が力に 鹿児島県いちき串木野市 山神 哲男 東京都議会議員選挙は、各政党が国政並みに力を注いだ。どの政党も満足のいく結果ではなかったと報じられた。しかし事前の苦戦が伝えられていた公明党は、23人全員当選の快挙。私たちが支持者も大変驚き、喜んだ。まさに、山口那津男公明党代表も言った通り「奇跡の勝利」だった。しかも、その全員当選を今回で8期連続で成し遂げたのである。マスコミ、政治評論家で、公明党の勝利を予想したところは一つもなかった。マスコミ各紙

波紋 立花隆氏の知的欲求に脱帽 富山市 龍沢 美知子 ジャーナリストでノンフィクション作家の立花隆氏が80歳で亡くなりました。「知の巨人」と評され、執筆のために読んだ本は生涯3万冊。「脳死」に関する本の出版のときは、積み重ねると3~4年くらいの資料を読み込んだといわれます。テーマは、医療、生物学、政治、経済、宇宙と、その知的欲求は幅広い分野にわたり、綿密な取材と分析に基づいて出版した著作は100冊以上。特集番組で田原総一朗さんは「田中角栄研究―その金脈と人脈」について、闇を恐れず巨大な権力に切り込み「あんな奴らに負けてたまるか」とことごとく戦ってやる」という正義感で総理大臣失脚に結び付けたと評されていました。氏は、コロナ禍の中で何を見つめ、書こうとされたのでしょうか。読んでみたかったです。(主婦 72歳)

アジサイの葉に花びら乗せて 石川県白山市 吉田 幸子 梅雨の合間の晴れた日、ほんのちよっぴり花筏の気分、アジサイの葉っぱに花びらを乗せて遊んでみました

発達した科学 どう使うのか 東京都北区 宮崎 寿子 先日、何気なくテレビを見ていたら、驚くべき実験結果が報告されていた。年寄いたマウスと若いマウスの体を結合させ、互いの血液が体内に流れるようにしたところ、年寄いたマウスの血管が若返ったという内容だった。本当に驚いた。まさに、人間は血液は人工で作れない。あんなに人間に似ていて、あんなに人間を問いつつ、あんなに人間を苦しめていく。必要

投稿募集 ①一般投稿:400字程度 ②「私はいこう思う」:600字程度 ③写真:簡単な説明を添えて ④イラスト:はがきで投稿 ▶郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業、電話番号を明記し、右記へ(写真・イラストはFAX不可) ▶二重投稿はお断りします。原稿は趣旨を変えずに添削する場合があります。掲載分には薄謝を進呈します ▶公明新聞および公明新聞電子版に掲載

郵送:〒160-8521 公明新聞波紋係 FAX:03(3225)0230 メール:hamon@komei.jp